

劇場版 BUCK-TICK

バクチク現象

- New World -

行こう
未来へと、行こう。

2022年にデビュー35周年を迎えたBUCK-TICK。
運命の下に出会った5人の男たち。その先の未来へ——



2025年2月21日(金)～限定ロードショー(二部作)

✦2月21日(金)～劇場版BUCK-TICK バクチク現象 - New World - I 公開
✦2月28日(金)～劇場版BUCK-TICK バクチク現象 - New World - II 公開

出演: **BUCK-TICK** [櫻井敦司/今井寿/星野英彦/樋口豊/ヤガミ・トール]ほか

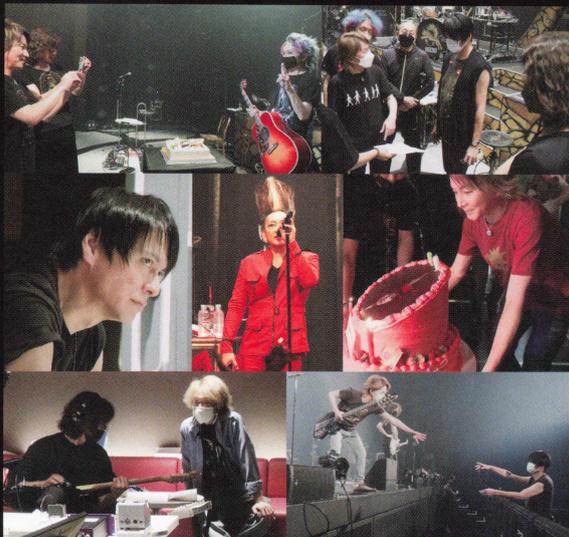
監督: 岩木勇一郎

企画・製作: バンカー
制作プロダクション: スピード

協力: ビクターエンタテインメント/リング・サウンド
配給: ローソンエンタテインメント/ローソン・ユナイテッドシネマ

<https://buck-tick.com>

映倫
24319-A



BUCK-TICK



劇場版 BUCK-TICK

バクチク現象

- New World -

全国ロードショー

2/21 (金)～劇場版BUCK-TICK バクチク現象 - New World - I
2/28 (金)～劇場版BUCK-TICK バクチク現象 - New World - II

TICKET ★ムビチケ前売共通券(オンライン)1/31(金)発売 I・II単券 各3,500円(税込)

★BUCK-TICKファンクラブ+モバイル会員限定特別商品

ムビチケカードと2025年3月に発売予定のBlu-ray&DVD「劇場版BUCK-TICK バクチク現象 - New World -」がセットになった限定商品。

※チケット、上映劇場に関する詳細は公式サイトをご確認ください。

まばゆい世界 君の世界 無限の闇 切り裂いてゆけ

(「New World」より)

1987年にデビューして以来、不動のメンバーでロックシーンの最前線を走り続けるBUCK-TICK。唯一無二の佇まいで、傑出した作品を生み出し続けてきた彼らは、ロックファンのみならず、ミュージシャンたちの“夢”のような存在でもあった。しかし、その道程は決して順風満帆なものではなかった。

今作品は、2021年12月29日の日本武道館公演から2023年12月29日まで、デビュー35周年の活動を軸にした丸2年を、岩木勇一郎監督が追い続けたドキュメント作品。普段見られないレコーディング風景から、コンサートのバックヤード、監督によるインタビュー映像など、音楽に向き合うメンバーの真摯な表情や、和やかな表情を見ることができる。

2020年に世界的に広がった新型コロナウイルスのパンデミックにより止まってしまっていたエンターテインメントが、少しずつ息を吹き返し始めた2021年。BUCK-TICKもシングル「Go-Go B-T TRAIN」をリリースし、全国ツアーに向けて発車しようとした矢先に、思いもよらぬ今井寿の骨折でツアーが延期。その復帰公演である、2021年12月29日の日本武道館公演から撮影はスタートした。

2022年9月、デビュー35周年イヤーの始まりを神奈川・横浜アリーナ公演2daysで華々しく飾ったが、その後の全国ツアーはメンバーのコロナ感染や、台風の影響で数公演が延期になるなど、予定通りの最終日を迎えられずにいた。

2023年4月にリリースしたアルバム『異空 -IZORA-』を携えた全国ツアー開始時は、マスク着用での声出しが義務付けられていたが、規制が緩和され徐々に歓声に戻ってきた。それを受けて、今まで通りにコンサートができる喜びを、感謝の言葉で届ける櫻井敦司の姿があった。9月17日・18日に彼らの故郷である群馬音楽センターで開催した「BUCK-TICK TOUR 2023 異空 -IZORA- FINALO」を終え、デビュー36周年がスタートした2023年10月19日。櫻井敦司が突然この世を旅立った。

深い悲しみの中、メンバーが選んだ道は4人でBUCK-TICKを続けることだった。闇を切り裂き、光の射す方へと歩みを進めたBUCK-TICKのNew Worldとは――。

